

説明のしかたについて考えよう

めあて

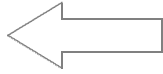
読むときのポイントにそって、自分で考えよう。

【読むときのポイント】

- ・ 文章の組み立て（説明の順序）
- ・ 写真と文章の関係
- ・ だん落とだん落の関係
- ・ 筆者が言いたいこと
- ・ 題名に言葉を付け加えるなら

学習の進め方

問いにそって自分で考えてみる。



分からない言葉は辞典で調べる。

終わったたら、ペアで考えを交流し合う。

《注意》

しつ問の意味が分からないときや、困ったときは、しづかに手をあげる。

【3 / 16 時間目 指導略案】

使用するワークシート「説明のしかたについて考えよう」

活動のねらい

教材文を読み、読むときの視点にそって自分の考えをまとめることができるようにする。

1 めあてを確認し、教材文「アップとルーズで伝える」を読む。

2 読むときの視点を確認する。

- ・ 文章の組み立て（説明の順序）
 - ・ 写真と文章
 - ・ 段落と段落の関係
 - ・ 筆者が伝えたいこと
 - ・ 題名に言葉を付け加えるなら
- ワークシート問い 3
ワークシート問い 4
ワークシート問い 3
ワークシート問い 5
ワークシート問い 6

「文章の組み立て」「筆者が言いたいこと」については、これまでの説明文の学習を思い出させ、文章を比べて考えさせるとよいでしょう。

3 ワークシートの問い1から問い6の順に自分の考えをまとめる。

活動が進まない児童には、個別に問いの意味や答え方を分かりやすく解説したり、これまでの説明文の学習を思い出させたりする。

本文に出ている意味が分からない語句については、国語辞典を使って調べさせておきます。

時間内に終わった児童は、ペアを作り、考えを交流させる。

評価 教材文を読み、読むときの視点にそって自分の考えをまとめている。（ウ）

4 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、筆者の説明の工夫について学習することを確認する。